

平成27年渇水における鳴子ダムの効果

－かんがい用水、発電用水を確保－

鳴子ダムは、7月以降貯水位が著しく低下し、平成24年以来の渇水になりました。

今回の渇水により厳しい貯水池状況のなか、鳴子ダムでは関係利水者と随時情報を共有しながら綿密な連絡調整を行い、計画的にダムを運用し「かんがい用水」「発電用水」を確保しています。

【平成27年渇水の概要】

●太平洋高気圧等の影響により、鳴子ダム周辺は少雨

- ・7月1日～8月23日の鳴子ダム流域平均雨量は計247mm。
10ヶ年平均474mmに対し約59%。

●著しい貯水位低下

- ・8月13日に、今回の渇水で最も低い水位 EL.233.08m（貯水率11%）。

【鳴子ダムの効果】

●かんがい用水の確保

- ・食料生産基地である大崎平野にかんがい用水を補給し、コメ減産を未然に防止するよう努めた。【補給量：約14,000千m³（7月1日～8月23日）】

●発電取水の確保

- ・鳴子発電所の発電用水を確保し、取水停止を回避することができた。
【最低取水量6.0m³/s以上供給】

（参考：今回の渇水と平成24年渇水との比較）

	平成24年	平成27年	備考
流域平均雨量	263mm	247mm	7月1日～8月23日
貯水位 （貯水率）	EL.231.39m （2%）	EL.233.08m （11%）	渇水期間中最も低い水位
補給量（千m ³ ）	約16,600千m ³	約14,000千m ³	7月1日～8月23日
発電用水の取水停止	あり（15日間）	無し	鳴子発電所

※各数値は速報値です。

※鳴子ダム管理所では、渇水対策支部（注意体制）を継続中です。

記者発表資料についてはホームページでもご覧になれます。
《 鳴子ダムホームページ<http://www.thr.mlit.go.jp/naruko/> 》

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 鳴子ダム管理所

所長 齋藤 信哉（内線201）

専門職 工藤 一志（内線330）

〒989-6806 宮城県大崎市鳴子温泉字岩淵2-8

TEL 0229-82-2341 FAX 0229-83-3855